

男女共同参画社会

下野市では『下野市男女共同参画プラン』に基づいて、男女の自立と共同参画社会の実現に向けた施策を推進しています。

現行プランの計画期間が平成27年度で終了することから、社会情勢に対応した、男女がともに支え合い、個性と能力を十分に発揮して、輝きながら心豊かに暮らすことができる地域づくりを目指して、現在、新たなプランの策定に取り組んでいます。

現行プランの見直しと今後の施策に市民意識を反映させることを目的として、男女共同参画に関するアンケートを実施しました。その結果を3回に分けてお知らせします。

調査の概要

■ 調査対象
2,000人

(18歳以上の下野市民 男女各1,000人)

調査方法

■ 調査時期 2月

回収率

■ 回収率 33・3%

男性も女性も共に輝く社会づくりに関するアンケート調査結果をお知らせします

① 男女の平等感について

「男女平等」が最も多いのは、「(ウ)学校教育の場」で61・6%、「男性優遇」が最も多いのは、「(エ)政治の場」で71・3%、一方、「女性優遇」は「(ア)家庭生活」で10・7%と1割を超えている以外は1割に満たない回答となっています。

② 固定的な性別役割分担意識について

固定的な性別役割分担意識について、「賛成・どちらかと言えど賛成」23・2%、「反対・どちらかと言えど反対」30・4%と固定的な市民が前回調査に比べ多くなっています。

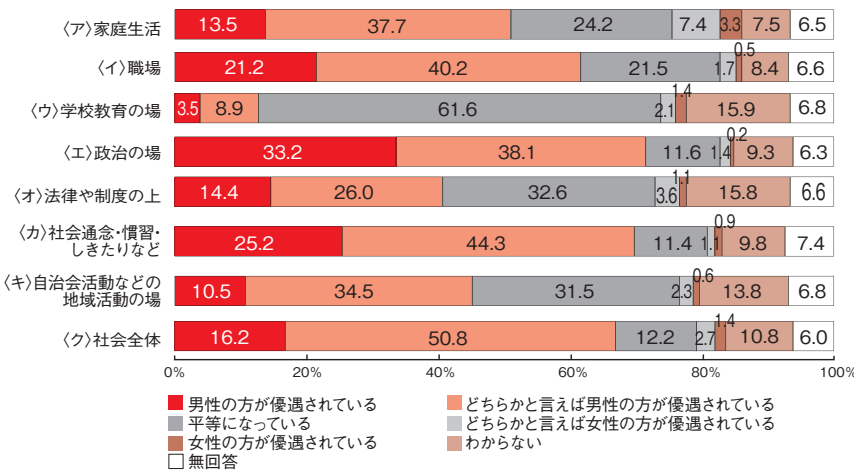
③ 家事の役割分担について

理想としては「夫・妻が分け合って行う」が46・5%と最も多くなっているものの、現実では「主に妻が行い、夫も一部手伝う」や「主に妻が行う」を合わせた「妻が行う」が72・5%と大半を占めており、固定的な性別役割分担に基づく行動をとっている人が多く、理想と現実での差が大きくなっています。

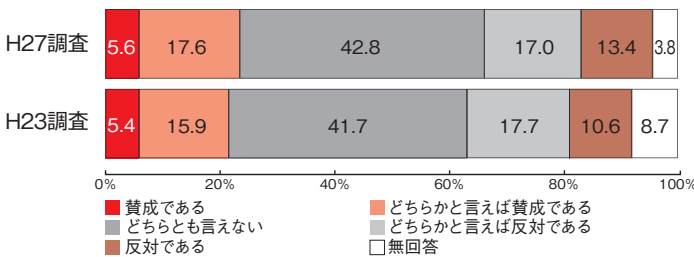
調査結果より

「男女平等や男女共同参画への意識については、依然、共働き世帯であっても、男性よりも女性へ家事・育児等の負担がかかっている現状があります。理想は「夫・妻が分け合って行う」が最も多くなっていることから、男女平等や男女共同参画の意識に基づき、家事分担を実践しやすくするための啓発や職場環境の整備等が求められています。

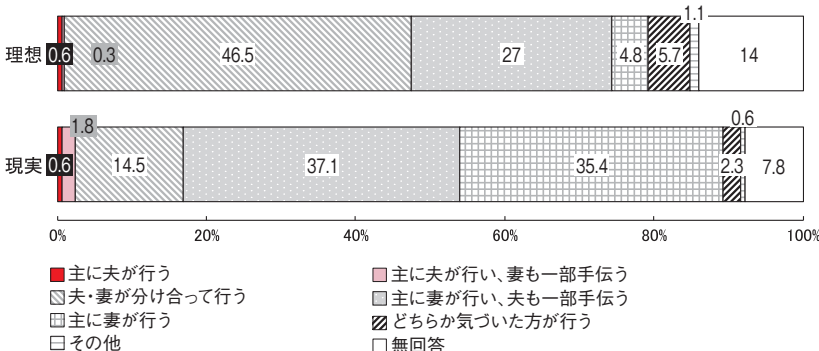
① 男女の平等感について



② 夫は外で働き、妻は家庭を守るべきである(固定的な性別役割分担意識)



③ 家事(掃除、洗濯、食事の支度、食事の片づけ)の役割分担の理想と現実



■ 問い合わせ先 市民協働推進課 ☎(40)5585